

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年1月25日 (2018.1.25)

【公表番号】特表2017-501218(P2017-501218A)

【公表日】平成29年1月12日 (2017.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-002

【出願番号】特願2016-558533(P2016-558533)

【国際特許分類】

C 0 7 C 17/093 (2006.01)

C 0 7 C 255/47 (2006.01)

C 0 7 C 253/00 (2006.01)

C 0 7 C 255/61 (2006.01)

C 0 7 C 251/68 (2006.01)

C 0 7 C 211/38 (2006.01)

C 0 7 C 23/24 (2006.01)

C 0 7 C 35/24 (2006.01)

C 0 7 C 209/42 (2006.01)

C 0 7 C 249/12 (2006.01)

C 0 7 C 29/50 (2006.01)

C 0 7 C 331/06 (2006.01)

C 0 7 C 265/10 (2006.01)

C 0 7 C 263/00 (2006.01)

C 0 7 C 207/02 (2006.01)

C 0 7 C 201/00 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 17/093

C 0 7 C 255/47 C S P

C 0 7 C 253/00

C 0 7 C 255/61

C 0 7 C 251/68

C 0 7 C 211/38

C 0 7 C 23/24

C 0 7 C 35/24

C 0 7 C 209/42

C 0 7 C 249/12

C 0 7 C 29/50

C 0 7 C 331/06

C 0 7 C 265/10

C 0 7 C 263/00

C 0 7 C 207/02

C 0 7 C 201/00

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月8日 (2017.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) の構造を有する化合物であって、

【化 1】



(I)

式中、

R^1 が、 N_3 、SCN、 NCO 、 NO 、 $-C(=NOR^2)(CN)$ 、または $-CH(=NOR^2)$ であり、

R^2 が、 $(C_1 \sim C_{10})$ アルコキシ、置換型もしくは非置換型 $(C_1 \sim C_{30})$ アルキル、置換型もしくは非置換型アリール、置換型もしくは非置換型アルケニル、置換型もしくは非置換型アルキニル、置換型もしくは非置換型シクロアルキル、置換型もしくは非置換型シクロアルケニル、置換型もしくは非置換型シクロアルキニル、置換型もしくは非置換型ヘテロ環、置換型もしくは非置換型ヘテロアリール、置換型もしくは非置換型アリール(アルキル)、置換型もしくは非置換型アルキル(アリール)、または置換型もしくは非置換型ヘテロアリール(アルキル)である、前記化合物。

【請求項 2】

R^1 が、 N_3 、 SCN 、 $-C(=NOR^2)(CN)$ 、または $-CH(=NOR^2)$ である、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

R^1 が、 $-C(=NOR^2)(CN)$ 、または $-CH(=NOR^2)$ である、請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

OR^2 が、カルビミドイル(carbimidoyl)シアニド、カルバルデヒドオキシム、(ベンジルオキシ)カルビミドイル(carbimidoyl)シアニド、またはカルバルデヒドO-ベンジルオキシムである、請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 5】

R^2 が、ベンジルである、請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 6】

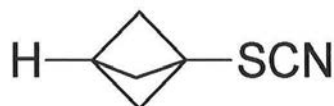
【化 2】



の構造を有する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 7】

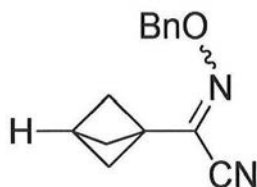
【化 3】



の構造を有する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 8】

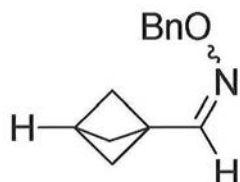
【化 4】



の構造を有する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 9】

【化 5】



の構造を有する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 10】

【化 6】



の構造を有する、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 請求項 10 のいずれか一項に記載の化合物を製造するための方法であって、

[1 . 1 . 1] プロペラン、

コバルト系遷移金属化合物またはマンガン系遷移金属化合物、

水素化物源であるシランおよび

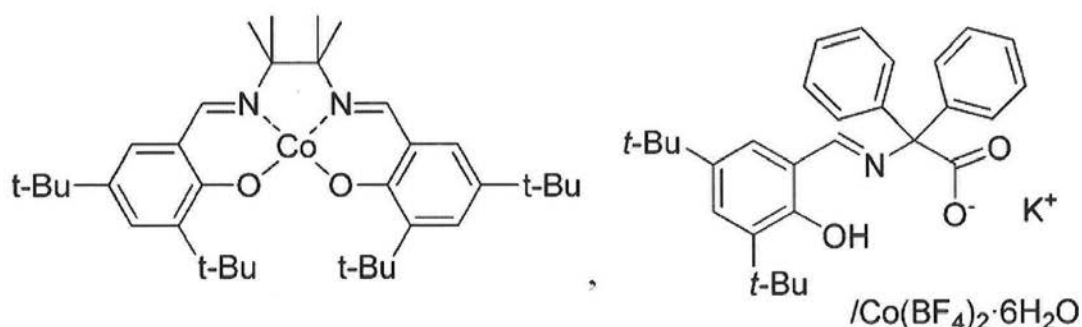
ビシクロ [1 . 1 . 1] ペンタンが置換基で置換されるように、前記置換基の全部または一部を与え得る試薬、を混合することを含み、

前記試薬が、トシルアジド、スルホニルアジド、アジ化リチウム、アジ化ナトリウム、アジ化カリウム、アジ化セシウム、アジ化亜鉛、チオシアン酸カリウム、亜硝酸ナトリウム、(E) - (フェニルスルホニル) メタナール O - ベンジルオキシム、(E) - N - (ベンジルオキシ) - 1 - (フェニルスルホニル) メタンイミドイルシアニド、tert - ブチルイソシアネート、および置換されていてもよいスルホニルオキシムから成る群から選択される、方法。

【請求項 12】

前記遷移金属化合物が、

【化 7】



及び $\text{Mn}(\text{dmp})_3$ から成る群から選択される、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記シランが、 PhSiH_3 である、請求項 11 または 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記試薬が、トシルアジド、スルホニルアジド、アジ化リチウム、アジ化ナトリウム、アジ化カリウム、アジ化セシウム、アジ化亜鉛から成る群から選択される、請求項 11 ~ 請求項 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

前記試薬が、チオシアン酸カリウムまたは亜硝酸ナトリウムである、請求項 11 ~ 請求項 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 16】

前記試薬が、(E) - (フェニルスルホニル)メタナル O - ベンジルオキシム、(E) - N - (ベンジルオキシ) - 1 - (フェニルスルホニル)メタンイミドイルシアニド、または tert - ブチルイソシアネートである、請求項 11 ~ 請求項 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 17】

前記試薬が、置換されていてもよいスルホニルオキシムである、請求項 11 ~ 請求項 13 のいずれか一項に記載の方法。